



## アンテナ・伝播研究専門委員会からのお知らせ

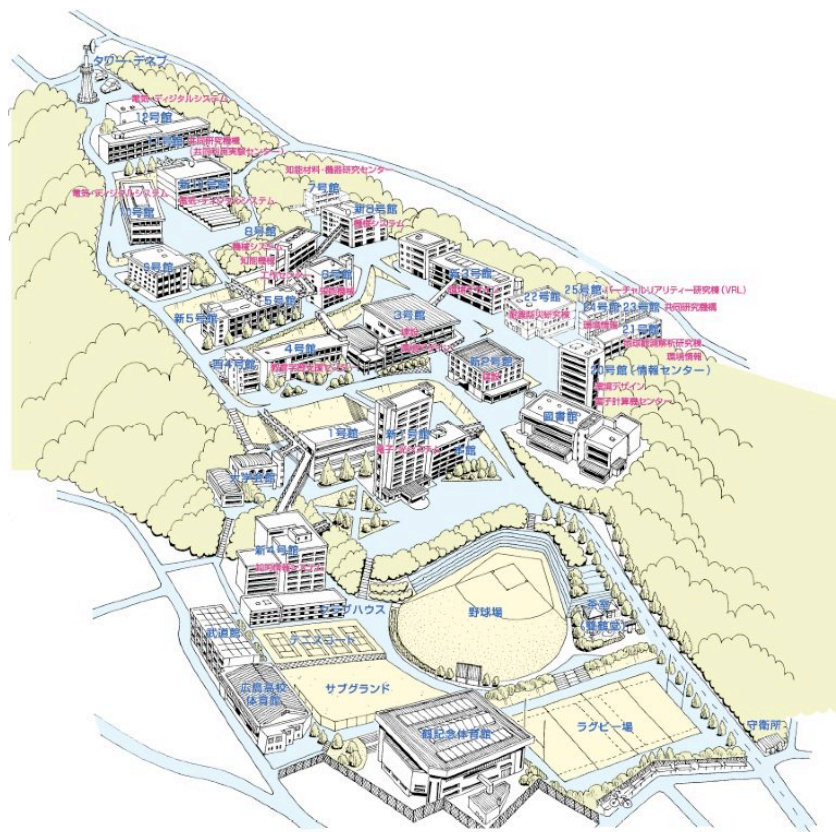
No. 7 / 2006 年 7 月

「アンテナ・伝播研究専門委員会からのお知らせ」第7号をお届けします。今回は、広島工業大学での開催です。会場世話人の電気・デジタルシステム工学科教授の浦崎修治先生から頂きました情報と、AP研各種委員会のトップを切って「WS常設委員会」の活動状況をお知らせします。

### 【1】広島工業大学

7月AP研の開催場所である広島工業大学が属する学校法人鶴学園は、2006年2月23日に創立50周年を迎えました。鶴学園は、名誉総長・鶴襄氏が校祖・鶴虎太郎氏の遺訓「教育は愛なり」を継承し建学の精神と定め、1956年2月23日、広島市西蟹屋町に「広島高等電波学校」を設立したことに始まります。現在では、小学校から大学・大学院までの7つの学校を擁する総合学園に発展し、その間社会に有用な多くの人材を育成し続けています。鶴学園の建学の精神「教育は愛なり」と教育方針「常に神と共に歩み社会に奉仕する」という教育理念は、学園の設置する各学校における教育・研究の実践にあたり、時代を超えて普遍妥当性を有しています。

なお、7月AP研の会場は、付属図書館3F視聴覚室です。



### 【2】AP研WS常設委員会

現在、第二種研究会として継続開催している「アンテナ・伝搬における設計・解析手法ワークショップ」は、手代木扶AP研委員長（当時、通信総研）の発案のもとに1994年に始まりました。「ア

ンテナ伝搬ワークショップ発足前後の事情については、「手代木扶：信学論 B, Vol. J86-B, No. 9, p. 2029, Sept. 2003」をご覧ください。

AP 研 WS 常設委員会は、この「アンテナ・伝搬における設計・解析手法ワークショップ」の長期的計画立案および運営のために設けられたもので、1996 年 7 月 5 日の設置準備打合せを経て 1996 年 8 月 2 日に第 1 回委員会を開催し、本年 5 月 25 日に開催された第 21 回委員会まで、歴史も実績もある委員会として活動し続けています。今年度の委員は以下のとおりです。

委員長： 堀 俊和（福井大）

幹事： 長 敬三（NTT ドコモ）

委員： 新井 宏之（横浜国大）、岩井 誠人（同志社大）、岩田 龍一（アンテン）

唐沢 好男（電通大）、榊原 久二男（名工大）、佐藤 和夫（豊田中研）

庄木 裕樹（東芝）、陳 強（東北大）、藤元 美俊（福井大）

宮下 裕章（三菱電機）、広川 二郎（東工大）

オブザーバ： 宇野 亨（東京農工大、IEEE AP-S Japan Chapter 委員長）

「アンテナ・伝搬における設計・解析手法ワークショップ」の各テーマについての運営は、AP 研 WS 常設委員会のもとに設けられる実行委員会が行っています。各 WS 毎の実行委員会では、約 10 名の実行委員がボランティアで、半年から 1 年かけて、シラバス審議、テキスト審議、発表形式審議を行い、より分かりやすいワークショップとなるよう努力しています。1994 年 11 月 24 日開催の WS-1「モーメント法によるアンテナ解析入門コース（講師：法政大学 中野久松先生）」以降、すでに 19 人の講師により 32 回（うち 3 回は中止）のワークショップが開催されています。次回は、WS-33（委員長：唐沢好男）として、新潟大学の山田寛喜先生による「スーパーレゾリューション」を 2006 年 10 月に開催する予定です。開催案内はまもなく周知の予定です。

また、AP 研 WS 常設委員会では、新たな企画として、大学の研究室配属あるいは企業の導入研修をイメージした「アンテナ・伝搬基礎講座」を開催するべく、現在、トライアルを行っています。

AP 研 WS 常設委員会について、ご意見がありましたら、[ap\\_ac-ap2\\_comm@mail.ieice.org](mailto:ap_ac-ap2_comm@mail.ieice.org) まで。

### 【3】AP 研副委員長の戯言

AERA（朝日新聞社発行）の 2006 年 4 月 10 日号および 6 月 12 日号に、「都道府県上流度ランキング」が特集され、総合トップが福井県で、最下位が高知県との記事が掲載され波紋を呼んでいます。記事では、「福井のとまどい」、「高知の逆襲」などとセンセーショナルに書かれていました。でも、今までから、たとえば「住みやすさ日本一」などのランキングでは、いつも福井が一番にランキングされています。私の偏見によるとそれは、すべてが「共働き日本一」に起因すると思われるが。それにしても、総合 2 位の滋賀県も、私の故郷なんですが……。



<問合せ先>

アンテナ・伝播研究専門委員会副委員長 堀俊和（福井大学）

E-mail: [ap\\_ac-chair@mail.ieice.org](mailto:ap_ac-chair@mail.ieice.org)